

「虹の松原」 松くい虫防除(空中散布)を実施

～ 佐賀県、唐津市、唐津警察署、地元の団体等の協力を得て松くい虫防除を実施 ～

5月26日早朝、佐賀県唐津市の「虹の松原国有林(約210ヘクタールのうち約143ヘクタール)」で、関係行政機関、地元団体などの協力を得て、松くい虫防除(空中散布)を実施しました。(人家、宿泊施設、保育園周辺など空中散布が出来ない箇所では、18日及び19日に地上散布(約65ヘクタール)により実施。)

当初、25日空中散布予定でしたが、26日に順延となり、当日は天候に恵まれ予定どおり実施しました。

当日の実施体制は、署職員のほか佐賀県、唐津市、漁協組合、地元駐在員等の協力の下、本部のほか19地点に担当者が配置され、各地点の風速・風向きを計測するとともに県道等の交通規制を行い、5時過ぎから松くい虫防除散布を開始しました。

鏡山の無線中継所からは、11回のフライトが順調に進んでいる様子が確認でき、約2時間で無事終了しました。

「虹の松原」の松くい虫被害は、平成4年度に2,334本の被害が確認されましたが、以降は減少しており、昨年度は126本と低水準に抑えられています。

当署では、国指定の特別名勝である虹の松原を保全することは重要な課題であると考えています。今後とも、地元住民などに対して松原の公益的機能の役割と景観保持の重要性を周知し、佐賀県、唐津市、ボランティア、地元各団体や地域住民の協力をいただき、「白砂青松」虹の松原再生・保全」に取り組んでいくこととしています。



白石 佐賀森林管理署長(中央:本部長)挨拶



ヘリコプターによる空中散布の様子



地上散布の様子

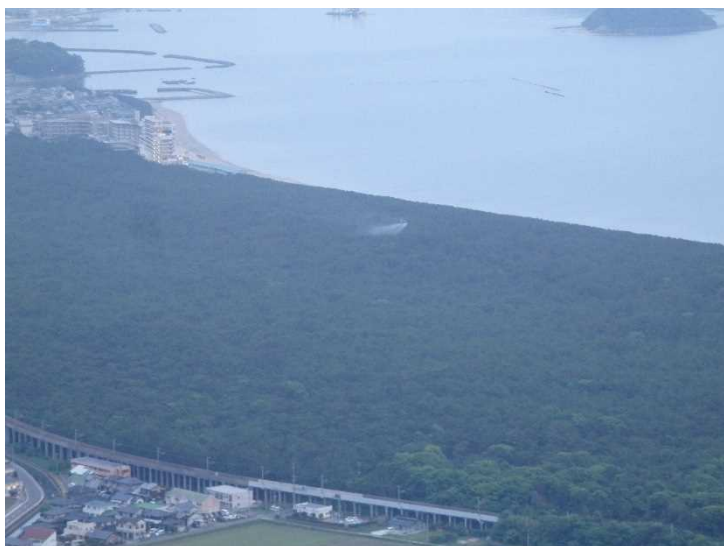
【 前日の確認飛行に離陸 】



【 空中散布直前の様子 】



【 空中散布 】



【 地上散布 】

